

## 静岡市監査委員会議記録

会 議 令和4年度 第7回 監査委員定例協議会

開催日時 令和4年10月31日（月）午前9時10分～11時10分

出席者 監査委員 遠藤 正方、白鳥三和子、福地 健、大石 直樹  
事務局長 萩原 健  
書記 杉田 陽子  
白鳥 浩司、山田 裕、渡辺 篤史  
宇佐美亜希、齋藤 升美、神山 悟  
新海 拓也、山本 和延

---

### 会議内容

1 開会宣言 杉田次長

2 例月現金出納検査等（9月分）

冒頭、白鳥次長補佐から、各会計とも、検査調書に記載されている預金残額と通帳類などの実物を事務局職員が照合した結果、一致していることが確認された旨の報告があった。

（1）説明者等

ア 各種会計 宇佐美係長（監査第2係）

イ 病院事業会計 白鳥次長補佐（監査第1係）

ウ 簡易水道事業会計 白鳥次長補佐（監査第1係）

エ 水道事業会計 新海係長（監査第3係）

オ 下水道事業会計 宇佐美係長（監査第2係）

（2）発言等

ア 各種会計

特になし

イ 病院事業会計

（白鳥委員）

合計残高試算表の器械備品の借方計上額の内訳は。

（事務局）

人工呼吸器、ベッドサイドモニタ、薬用冷蔵ショーケースなどである。

ウ 簡易水道事業会計

特になし

エ 水道事業会計

(福地委員)

台風15号による被害の影響は今回反映されているのか。

(事務局)

ほとんどのものが来月以降に反映される。

(遠藤代表)

台風15号による被害に関連して、水道料金が減額されるということだが、それも今後反映されるということか。

(事務局)

そのとおりである。

オ 下水道事業会計

(白鳥委員)

先月の検査調書にあった合計残高試算表の建設改良分企業債の借方計上額は14億8千万円余となっており、当月の検査調書にある支出に係る予算執行表の企業債償還金振替額15億6千万円余と一致しない。他の会計では一致しているが、下水道事業会計について8千万円余の差が生じる理由は。

(事務局)

後日、改めて回答する。

(大石委員)

通常は、水道水の使用水量に応じて下水道使用料が算定されている。今回の台風では、上水道は断水したが、下水道は使用できたため、給水車等で配られた水を使用後に下水道に流している。そのため、通常の方法では、下水道使用料が算定できないと思われるが、このような今回の台風による影響が来月以降に出てくると思われるので、その際に教えてほしい。

(事務局)

下水道使用料を減免することが報道発表されており、影響はあるものと思われる。また、改めて報告させていただく。

3 協議会議事

(1) 協議事項

ア 協第27号 住民監査請求の受理・不受理の決定について (連名分)

イ 協第28号 住民監査請求の受理・不受理の決定について (単名分)

同趣旨の請求であったため、2議案を一括して説明した。

(ア) 説明者

宇佐美係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

次の2点において、地方自治法第242条第1項に規定する住民監査請求の要件に合致しない請求であることを確認した。

a 市に損害をもたらさない財務会計上の行為等は住民監査請求の対象にならないところ（平成6年9月8日最高裁判決（行ツ）第97号）、市に損害が現存すると認められないこと。

b 損害の補填のために必要な措置を講ずることを請求するものではなく、市の収納金の取扱いに係る事務手続が不当であることを主張し、又は、所管課の補助金交付事務の執行の在り方の是非について監査を求めるものであること。

(エ) 結果

遠藤代表監査委員から、当該協議事項について諮ったところ、全員一致で受理せず、監査を実施しないこととして決定された。

ウ 協第29号 指摘事項に対する措置状況（定期監査）の公表について

(ア) 説明者

新海係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

措置状況の公表について、監査委員の了承が得られた。

(2) その他連絡事項

ア 令和4年度第6回定例協議会議事録及び令和4年度第3回臨時協議会議事録の公表について・・・・・・・・・・・・・・・・・・白鳥次長補佐が説明

イ 11・12月の日程について・・・・・・・・・・・・・・・・・・杉田次長が説明

4 閉会宣言 杉田次長